



姫塚物語

広報おなん2014年12月号
から転載

出羽の二ツ山城には富永実佑（さねすけ）と申す地頭がおり、二人の子どもがいました。一人は名を佑忠（すけただ）といい、二ツ山城から8里ばかり離れた、君谷に居て、領地を治めていました。

また、もう一人の名は雪といひ、その名のごとく、雪のように美しく白い肌の姫で、みんな雪姫御前と呼んでいました。

実佑はこの雪姫に、やがては、家来の堅田（かただ）九郎とめあわせようと考えていました。九郎は城の中でも一番と呼ばれるほどの豪の者で、美男と評判の若き侍でした。

正平一六年の春のことでございます。晴れて夫婦になることになった二人の前に思わぬことが起こりました。隣の藤掛城の高橋氏から難題が持ちかけられたのです。「近くこの石見国に来られる足利直冬（ただふゆ）公に味方し、川本の丸山城を攻めること、さらに忠誠のあかしとして雪姫を人質としてつかわすこと」という2つの条件でした。

二ツ山城の富永と、丸山城の小笠原氏とは、以前から親しい交際をつづけてきた間柄で、たとえ直冬公の命令でも、これを攻めることはできません。まして雪姫の人質のことなど、もつてのほか。実佑は高橋との戦を覚悟の上で、この申し入れを断りました。一方、君谷の佑忠に急使を遣わすとともに川本の丸山城にも援軍を頼むことにし、その使者を堅田九郎に命じました。実佑は雪姫もこの城にいない方がよいと考え、九郎につけて、君谷の兄のところへ避難させることにしました。実佑は早速二人に事の次第を告げ、戦いが終わったら君谷の佑忠のもとで、夫婦の式を挙げるがよいと言ひ、また雪姫には母の形見の美しい塗笠を与えました。



3月3日の夜にまぎれて、雪姫と九郎は城を抜け出しました。できるだけ人目をさけるよう道をえらび君谷へ急ぐことにしました。二人が城を出たあと、藤掛城の攻撃に備えていた味方の兵が敵に寝返り、敵方の兵と共に二ツ山城を攻

めてきたのでした。

そのほかの皆も次々と落とされて、城は丸腰になり、二ツ山城は敵が放った火によって炎に包まれ、とうとう落城してしまいました。一方、城を脱出し、笠取山にたどり着いた二人を待っていたのは、高橋方の追手でした。二人が城を抜け出したことを知った敵は、すぐに八方に手分けして、行方を追っていました。そして笠取山にも一隊を配していたのでした。追手の大将が藪かげから現れ、兵士とともに二人を取り囲みました。

「あのとおり二ツ山城は落ちた。かくなる上は、姫は藤掛城にまいられよ。九郎はいさぎよく縄にかかれ」といって、二人の方に近づきました。九郎は「姫を渡すことも、縄をうけることもならぬ」といって、腰の太刀を抜き身構えたその時、雪姫はふとこの刀を抜いて自らののどを刺したのでした。雪姫の思いを悟った九郎は姫の首を討ち落し、返す刀で敵の一人を打ち取りました。そして、身をひるがえして君谷への街道の横手を走り去りました。追手は九郎を追いかけていましたが、豪傑ぶりを知っているため深追いをやめて引き返し、姫が持っていた塗笠だけを首の代わりに取って帰りました。後でこのことを知ったふもとの村人たちは姫の亡がらをそこに埋めて、塚をつくり、姫塚と名付けました。それから3年の月日が流れたある秋の日、一人の旅僧がこの笠取の横手にやってきました。堅田九郎でした。姫塚には草が生え、その上には一つの美しい形の石が据えてありました。その石は、そこから二ツ山城を眺めている姫の姿にも似ていました。

九郎は、「姫、九郎でござる」と、呼んでその石を抱きしめました。石は姫の姿に変わり、九郎の腕の中に抱かれるようになっていました。それは遂に結ばれることのなかった二人の夫婦になる式でもあったのでございます。

しばらくして二人の姿は消え、またもとの墓石だけが残っていましたが、その石には、大きな九郎の掌の痕が、刻みこまれるように現れていました。

村人たちは、これを大人の手形と名付けました。大人というのは貴人という意味で、九郎をあがめて大人と呼んだのでした。

そして、九郎の真心を雪姫がよろこんでうけたのだらうともいいました。

いまでも村人たちは秋の雨が降ると、姫しぐれとよんで姫が泣くのだらうといい、また風が吹いて山が鳴ると、大人の手形が姫をとむらって読経しているのだとも申します。

錢宝自治会で管理されているホームページに「姫塚」の写真が掲載されています。興味のある方は左の二次元コードをスマホで読み取ってご覧ください。

姫塚の場所が分かれば一度お参りに行ってみたいと思います。



公民館清掃活動のお礼

田所公民館では年2回公民館清掃を行っております。

11月25日（土）に、公民館学級の方々を中心とした有志の方々が公民館清掃をしていただきました。



ありがとうございました！

第10講

楽しく体を動かそう！

女性セミナー第10講「楽しく体を動かそう！」

を下記の日程で開催します。

元気館トレーニング室で、健康運動指導士によるミニ講座を聞いたり、ストレッチやマシンの体験等をします。みんなで楽しく身体を動かし、運動不足の解消とストレス発散をしませんか？

お誘い合わせの上ご参加ください。

○日 時 1月19日(金) 13:30~15:00

○開催場所 元気館 トレーニング室(現地集合)

○持参品 室内用シューズ・飲み物・タオル

○参加費 300円

○締切り 1月16日(火)

※悪天候のため警報が出ている場合は中止となります。

詳細は公民館にお問い合わせください



森林組合さんにご指導いただきました



見た目より急斜面でした

11月24日(金)に毎年恒例の植樹が、いこいの村しまね近くの高水地区で行われました。
当日は、樹幹ネットワークの方が中心となり、森林組合、役場産業支援課職員も参加し、瑞穂地域各公民館の館長と主事が微力ながらお手伝いをしました。
風が冷たく寒いのも中学生はなんのその。今年も松の苗木400本をあっという間に植えました。
この活動を通して、植林の重要性について学び、森林環境を考える貴重な機会となりました。

瑞穂中学校全校生徒と

植樹を行いました



☆どがあずしろう会☆



紙面に余裕がありますので、どがあずしろう会の直近の活動の様子と今後の予定をお知らせします。

ニツ山整備

まずニツ山整備活動として、町道ニツ山線に降り積もった落ち葉を掃除しました。
落ち葉が濡れて車のブレーキが効かない危険があるとともに、落ち葉に隠れている山石(尖った石)のせいでタイヤがパンクすることもあります。
ニツ山城跡を訪れる人も年々増えているため11月11日(土)と12月9日(土)にブローアール道路の落ち葉を吹き飛ばしました。
とはいえ、綺麗にしても落ち葉はありますので、ニツ山にお越しの際はお気を付けください。

ニツ山雲海イベント

11月19日(日)に今年最後となるニツ山雲海イベントを開催しました。

前日には寒気の影響で雪が降り、開催が危ぶまれましたが天気は持ち直しました。

当日は雲海はありませんでしたが、日の出を楽しみに待っていると、参加者さんから「ノンアルコールのワインで乾杯しよう!」とサプライズがあり、日の出前に皆で乾杯しました。

日の出は雲に覆われて見えませんでした。が、15分待っていると時間差で幻想的な朝日を見ることができました。
来年も継続してイベントを開催したいと思しますので、ご参加ください。



朝日がきれいでした

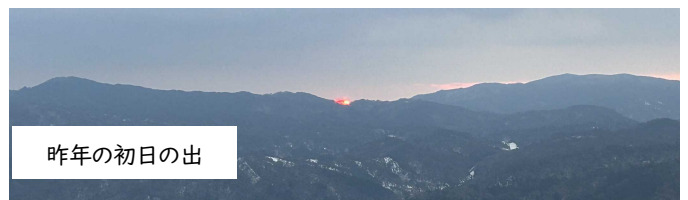
ニツ山から初日の出



どがあずしろう会では雲海イベントで培った経験と知識をもって、元旦にニツ山の西の丸に登り、初日の出を拝みたいと思います。お雑煮も振る舞います。

日時 令和6年1月1日(月)
集合 6時40分に田所公民館
参加料 無料
その他 暖かい服装でお越しください

なお、前日までに大雪が降った場合や、当日に雪や雨が降る場合は中止とさせていただきます。
参加をご希望の方は、12月28日(木)までに田所公民館までお申し込みください。(お名前と人数と連絡先を教えてください)



昨年の初日の出

瑞穂中学校・田所公民館 合同人権講演会開催

12月2日(土)に臨床心理士の武田正文氏を講師にお招きし、『変わる教育、変わらない心、親子の悩みを解消する新常識』と題して人権講演会を開催しました。

変化の激しいこれからの時代を子ども達が生き抜いていくには何が必要なのか。瑞穂中生徒と保護者の皆さんに今の子ども達の姿を受け入れながら、心理学の視点を通して話をしていたいただきました。

生徒・保護者の皆様ともども、未来に向けての大きな光となったことでしょう。

ー主な行事予定ー

- ー12月ー
- 25日(月) 瑞穂小・瑞穂中終業式
- 28日(木) 仕事納め
- ー1月ー
- 2日(火) 新春走ろう会・新年互礼会(田所公民館)
- 4日(木) 仕事始め
- 4日(木) いちもくクラブ
- 5日(金) 新春書き初め大会 9:30~(田所公民館)
- 9日(火) 瑞穂小・瑞穂中始業式
- 11日(木) にもくクラブ
- 19日(金) 女性セミナー(楽しく体を動かそう!)
- 28日(日) 餅つき大会(田所公民館)



主事のひとこと…「輪転機」



お気づきの方もおられると思いますが、先月号の公民館だよりから黒刷り印刷になっています。輪転機の部品が製造中止のため修理もできません。邑南町のホームページにある公民館だよりコーナーでカラーの公民館だよりを見ることができます。

田所地区の人口 (11月末)

男性 777人
女性 892人
合計 1669人
高齢化率 43.2%